

(122) アンモニアの噴水実験

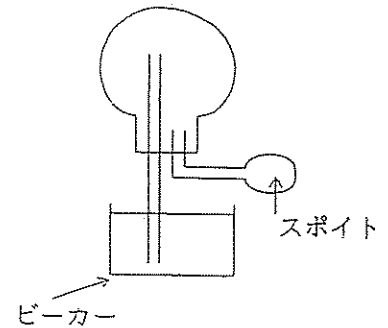
① 濃アンモニア水を加熱して、丸底フラスコにアンモニアの気体を集める。このとき、丸底フラスコにアンモニアがいっぱいになったことを確かめるには、丸底フラスコの口に（ ）を近づける。

② ビーカーには（ ）を入れる

③ スポイトから（ ）を送り込む

④ 丸底フラスコ内のアンモニアが水に溶け、丸底フラスコ内の気圧が上がり 気圧が下がり

⑤ ビーカーから②の液体が（ ）色の噴水のように上がる



(123) (122) のような噴水実験は丸底フラスコの気体に（ ）を集め、ビーカーには（ ）を入れて行うこともできる。このときの噴水の色は（ ）色。

★ 実験器具・装置

(124) ビーカーやフラスコなどがガラスでできているのは

① （ ）に強い ② （ ）ない

③ （ ）なので変化の様子がわかりやすい

④ 他の物質や薬品と反応（ ）

(125) 加熱するときには使うのは 丸底フラスコ 平底フラスコ 三角フラスコ

(126) (125) の理由は 熱に強いから 熱が全体に伝わりやすいから

(127) 加熱する実験を行うときは

① 部屋の（ ）に注意する

② まわりに（ ）を置かない

③ （ ）のないところで行う

④ （ ）を用意する

(128) 試験管に液体を入れて加熱 するときには

① 液体は試験管の（ ）位まで入れる

② 突沸しないように（ ）や（ ）を入れる

③ （ ）ながら加熱する